

ムダを徹底的に排除した“こども英語”で通じる英語に！

ネイティブの “こども英語”で通じる英会話

2020年4月5日(日)発刊

株式会社あさ出版(代表取締役:佐藤和夫、所在地:東京都豊島区)は、甲斐 ナオミ 著『ネイティブの“こども英語”で通じる英会話』を2020年4月5日(日)に刊行しました。

英語はメッセージを伝える方法

「英会話」というと、正しい文法や発音で話さなければいけないと思いがちですが、相手にメッセージを伝えることが目的です。ネイティブの子どもたちは、少ない単語数でもコミュニケーションを取ることができます。それは、シンプルな表現を使っているからです。

本書では、そんな“こども英語”を使って話す方法を紹介しています。英語で「道を尋ねられたとき」や「場所を聞かれたとき」など、国内で話しかけられた場合に使える表現が中心になっています。「英語が苦手!」「英会話なんて無理!」という方も「これなら話せるかも」と思える1冊です。

書籍名:ネイティブの“こども英語”で通じる英会話

刊行日 :2020年4月5日(日)

価格 :1,300円(税別)

ページ数:216ページ

著者名 :甲斐 ナオミ(かい・なおみ)

ISBN: 978-4-86667-159-8

【目次】

はじめに

Part1 英語習得に必要なのは“これ”だ!

Part2 国内で話しかけられた 困ったときの切り返しフレーズ

Part3 英語で話しかけてみよう

Part4 会話で使うidiom100

索引



【著者プロフィール】 甲斐 ナオミ(かい・なおみ)

日本人の両親をもつカナダ生まれ。大学を卒業するまでに6ヶ国語をマスターし、現在は英語、フランス語、日本語のトライリンガル。モントリオール大学英仏翻訳科大学院修士課程を卒業後、28歳のときに日本移住し翻訳家資格を取得。

現在は、「世界まる見え! テレビ特捜部」や日立 世界ふしぎ発見!」などに通訳で出演したり、「ダーウィンが来た!」や「ワイルドライフ」などの英語字幕・ナレーション・翻訳を手がける。

伝えたいことは“シンプル”にする

英語でしゃべるうえで、最も大切なことは、「伝えたい日本語を単純化して言い換えること」です。日本語を忠実に英語にするのではなく、伝えたいことをシンプルにした日本語を英語で表現するのです。“こども英語”はいわゆる、“英語の断捨離”です。

本書では、実際の会話を“こども英語”とイラストを使って紹介することで、イメージやすくしています。

Where is the station?

駅はどこですか？

Over there.

(駅の方向に指を差しながら) あそこです。



よく使う「身のまわり」のモノをイラストで紹介

身につけるもの

